

平成30年度当初予算への要望

【地域要望】

平成29年8月22日

豊田市議会自民クラブ議員団

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

【挙母地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	新規	崇化館	市道昭和町線/昭和町4丁目～喜多町2丁目交差点	駅前通り北地区再開発ビル建設に伴い、大型の作業車運送車の往来による「道路舗装の劣化」が目立つ。近隣の商店ウインドガラスにアスファルトの一部が飛び込むこともあり。早期に再道路舗装を要望する。合わせて昭和町線の街路樹の統一を図ってもらう事を要望する。
2	継続	朝日ヶ丘	市道青木新生線の道路拡張	枝下用水～小坂若林線（市道青木線）約500M間は狭隘で、南部分は田畑で3～4M落差があり、対向車がある場合、待機を余儀なくされるとともに、歩道も設置されておらず、自転車・歩行者と車との接触事故。また、車同士の事故により、南側田畑に転落など、事故が予想される。この部分は北側が緑地指定されており、公園用途以外の道路拡張は難しいのが現状である。 （状況） ①枝下用水の耐震化調査完了。②北側5名の地権者の同意も南側の地権者と比較して交渉が容易と思われる。③都市緑化区域の除外検討を再度要望。④車道、歩道など一体的整備⑤童子山小北側道路の道路拡張による道路使用
3	継続	朝日ヶ丘	バス運行路線の新設	①豊田市駅～小川・細谷町経由 ②主要公共施設（美術館・文化会館）経由の巡回バス路線新設（1）都心部の交通渋滞緩和及び乗入れ抑制と環境モデル都市としての低炭素社会実現のための路線新設（2）核家族化による高齢者の福祉対策（3）免許返納者対策（4）昼間時の乗り合いタクシー利用による効率化
4	継続	朝日ヶ丘	小川町4丁目北側と豊田ダンボール倉庫東側間の狭隘道路改修	H25年に愛知県に対して、事業認定を申請したが却下。地主との協議も難しく手詰まり状況であるとの事。H27に、該当箇所の地主より他地所の土地利用について相談があり、その土地利用とあわせて、該当箇所の売却を要請するという段階である。
5	継続	朝日ヶ丘	国道155号御幸3丁目交差点より土橋方面への右側部分の歩道の設置	R155号道路は、主要幹線道路で朝夕の通勤車両が多い道路で、形態も緩やかなカーブと下り坂のため、スピード制御が難しい。また、通学時間帯は自転車などによる児童・高校生の通学路のため、安全対策上早期改修が必要である。
6	継続	朝日ヶ丘	新生公園の早期実現・樹木公園の整備	震災時の第1次避難地として広域避難機能とともにスポーツ施設としての住区基幹公園として早期計画の実現が望まれる。この公園は計画構想から十数年が過ぎ、その後進展もなく土地所有者も市街化区域のため、固定資産税補填による土地利用もあり、民間利用などにより、虫食い状況である。そのため、公園計画自体に支障が生じる可能性が大である。あわせて樹木公園の考え方について枝下用水の耐震調査完了により早期検討。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

7	継続	朝日ヶ丘	東高跡地における新博物館建設の推進	<p>県立東高校の跡地利用については、博物館法に基づく新博物館を建設する方針が決まった。実施設計の策定にあたり、小坂区、樹木区、両区街づくり委員会、内藤学文公顕彰会そして挙母祭り保存会の地元6団体をはじめ地元の意見や要望を計画策定に反映されたい。</p> <p>①博物館施設のみでは集客できないのでコミュニティー施設、飲食施設の位置づけを。②入口は国道153号からがベター。③駐車場の位置づけは博物館の中にも必要。④美術館の高低差が大きく交流しづらいので一考が必要。【場所：小坂本町5丁目地内】</p>
8	継続	朝日ヶ丘	街区公園の新規建設	<p>自治区北部に公園がないため、北部地域の住民に良い居住環境を整備していくことが必要。仮にこの公園用地の所有者が民間に土地を売却した場合、二度とこの用地は取得できなくなる。開発住宅が密集し、住環境が損なわれることが明白。災害時の一次避難場所としての活用による安全安心な街づくりに役立つため、早期に街区公園として都市計画決定まで進め、公園を建設してほしい。</p> <p>【所在地は三軒町1丁目地内。旧市営三軒町住宅跡地に隣接する東側の農地と山林。所有者は1家族】</p>
9	継続	朝日ヶ丘	毘森公園の再整備の推進	<p>毘森公園の再整備については、中央公園整備との施設配置や機能を有機的に考慮すべき。中心市街地に所在する都市型公園として、駅西区域の整備として都心環境計画との整合を考慮し、早急に整備すべき。</p> <p>なお、計画策定にあたっては、公園用地内で小坂の住民によるボランティア団体が自主管理する近自然型の「小坂の郷」を整備・維持管理しており、よって地元小坂自治区の意見や要望を最大限、計画策定に反映できるようにしてほしい。</p> <p>①災害時の拠点場所でもあり都市公園として駅前再開発と合わせ早急に公園計画を推進していただきたい。②公園用地の一部を小坂区が借用し小坂の郷としてビオトープ計画を進めているので公園計画と合わせて整備してほしい。③地元小坂自治区の意見や要望を反映していただきたい。</p> <p>【小坂町1・2丁目】</p>
10	継続	朝日ヶ丘	県道豊田東郷線の都市計画改良の早期事業化	<p>県道豊田東郷線（都市計画東郷豊田）は交通量が多く中心市街地に接続する重要な幹線道路だが、歩道幅員が狭く歩行者、自転車の通行が危険な状態である。現状は幅員約10mだが、幅員16mに改良する都市計画決定がされて以来、事業化が進んでいない。都市計画改良を早期に事業化していただきたい。</p> <p>【区間：小坂町7丁目の三九朗病院交差点から小坂本町1丁目の富士火災交差点までの延長約800m】</p>

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

11	新規	朝日ヶ丘	市道小坂三軒2号線改良の早期事業化	この市道は、市道認定されて以降、1人の地権者の協力が得られないまま20年以上が経過している。この市道は、衣丘小学校北西角から市道三軒家八ツ迫線までの区間で、旧挙母揚水の水路敷。地権者への切れ間ない交渉を継続すべき。 市道改良による市道開設ができない場合は、復員3mの自転車歩行者専用道として整備してほしい。 【三軒町5丁目6丁目】
12	新規	朝日ヶ丘	市道三軒1号線改良の早期事業化	三軒屋公園の西側を南北に走る市道三軒1号線は新設道路であり、1人の地権者の協力が得られないまま10年以上が経過している。 この市道は、市道小坂三軒2号線とセットで改良が進めば、市道豊田刈谷線から鉄工団地を結ぶ地域の重要路線となる。狭い道を走る大型車を解消でき、学童通学路の安全につながる。 地権者への切れ間ない交渉を継続すべき。 【三軒町5丁目】
13	新規	朝日ヶ丘	市道認定と早期整備事業化	住宅街へ進入する道路が鋭角交差点で、その先も片側が交代義務のない農地のため復員が狭く、すれ違いができない状況となっている。 その解決策として、小坂町5丁目の市道小坂朝日線と、三軒町1丁目の市道平戸橋土橋線（旧道）を結ぶ路線を市道認定し、整備を進めていただきたい。（一部新設、一部は開発等に伴う道路） 【小坂町5丁目、三軒町1丁目】
14	継続	豊南	安永川改修事業に伴う公園整備等	安永川改修事業は、国県市事業であり、市街地の排水を一手に受ける河川事業である。この事業が完成すれば、地域の環境は大きく変わり、交通渋滞や違法駐車などが予想される。こうしたことを解消するため、明治用水と新安永川の区切られた区域を公園等に整備することによって、より安全安心な環境が整う。
15	継続	豊南	地域体育館整備	地域住民の健康福祉施策として要望する。特に豊南地区には河合池運動広場・マレットゴルフ場が整備されており、平成29年度には河合池周りの整備も完了し、地域体育館の整備を行えば、健康福祉施策としての相乗効果もある。
16	継続	豊南	交番設置	豊南地区は、トヨタ自動車本社で地域が分断されており、豊田市のいう「中学校単位で一つ」という基準に合わない地域である。特に地域性に留意され、地域住民の安全安心のため、交番設置を強く望む。
17	継続	豊南	明治用水耐震化工事に伴う暗渠化	平成26年度より明治用水耐震化工事が水源頭首工より始められる。その説明によれば、人家のないところでは「開渠」で整備する方針のようだが、頭首工付近は、歩道が設置されておらず、交通量も多いため非常に危険である。「暗渠」にすれば、その上部を有効利用し、歩道など設置すれば、地域住民のみならず、多くの市民が利用できる。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

18	継続	逢妻	柿本公園の整備再開／柿本町	都市公園として用地を取得し、地域住民のワークショップにより、設計も完了しているが、更地のまま何年も利用されていない。平成27年度には再度ワークショップが開催され、整備再開に向けての動きがあった。防災公園としての機能もあるので、投資効果が得られるよう、確実に着工するよう要望する。
19	継続	逢妻	市道：本地柿本線の拡幅延長／柿本町	当該市道は、トヨタ元町工場の巨大駐車場の出入口があり、朝夕は慢性的な渋滞を起こしている。さらに大型小売店の開店、西BPの整備による転回禁止により通行量が増大している。平成26年度、柿本町3交差点から西に約80mの区間で拡幅工事が始まったが、そのさらに西にはタイヤメーカーの倉庫があり大型車両が往来するために、すれ違いができない状態である。その倉庫への進入口までの早期拡幅を要望する。
20	新規	逢妻	市道：千足深田線の歩道整備／深田町	深田町2丁目地内の当該市道の一部は、度重なる舗装修繕のため車道と歩道の高低差が酷くなっている。歩行者の往来も多いので抜本的な歩道整備を要望する。
21	継続	逢妻	広久手町4丁目～5丁目の里道の市道認定と早期整備	平成19年以来2つの自治区からの要望 西に出る道路がないため、広久手町地内から西の平戸橋―土橋線に抜ける道路の整備を要望する。
22	継続	逢妻	千足町5丁目～8丁目 市道高根越行者線の幅員	通勤の車で朝夕の交通量がかなり多い。道路幅が狭いため、相互通行ができず渋滞の要因となっている。早期に幅員拡幅の整備を要望する
23	継続	逢妻	東新町3丁目の排水溝の拡大	東新町3丁目31番地および3丁目35番地（別添資料）の物件の個人宅が、大雨のたびに浸水の被害にあっている。付設の即効の容量が小さいのが要因であるため、側溝の容量拡大が急務であ
24	継続	逢妻	県道打越線 本地町7丁目交差点の改良	早朝、みよし方面より豊田市に向けて交通量が増える。渋滞の要因のひとつに、西から東に向かう車が、本地町7丁目の交差点を南に曲がる車で渋滞している。交差点右折車線の整備を要望する
25	継続	逢妻	通学路歩道整備	吉路橋付近交差点から、千足深田山線、宮町本新線 本新田町線の歩道の整備を早期に要望する
26	継続	逢妻	市道豊田西部線のみよし市との早期開通	みよし市三好ヶ丘より豊田市内への進入道路である市道福谷一色線は、交通量も多く幅員も狭く、小中高校生の通学路として、大変危険である。よって、市道豊田西部線：朝日町～大池町間のうち久岡町～三好ヶ丘間の早期開通が求められる。
27	継続	逢妻	東新町ふれあい広場整備	現在の東新町地内は、児童数も多く、安全な通学団集合場所もない。幼児の保護者数も多く散歩など屋外で過ごすスペースがない。そのような環境の中で、現状のふれあい広場を余剰地も含め拡張し、遊具を設置し、地域住民が安全に集える場所として整備が急務である。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

28	新規	逢妻	宮口町1丁目内市道における安全整備	白山町五郎土交差点から宮口町1丁目間の市道は、小学生の通学路になっているが、一部歩道が無いヶ所や歩道・車道幅ラインなどの明示も消えており、朝晩の抜道通過車両も多い状態である。いつ通学児童の事故が起きても不思議でない状態であり至急、安全整備を要望する
29	新規	逢妻	(仮)久岡1号線の早期整備	久岡町地内の(仮)久岡1号線は、以前に地元説明が終了し、再度、地元区民の道路計画説明を開催し、区民の意見集約は終了している。よって、早期の計画開始を要望する。
30	新規	逢妻	市道小久手本地1号線線通学路歩道整備	市道小久手本地1号線は園児、小中高校生まで多くの子供が通学している。しかし終日交通量が多くその量は、市内でも特に多い幹線である。その歩道について、一部はガードパイプがなく、通過車両と児童の接触事故が度々あり早急の安全対策が求められる。
31	継続	梅坪台	浄水地区 交番設置	浄水地区の区画整理事業が進み、人口が急増しており、さらに近隣地区の上豊田駅周辺のみちづくり事業も、いよいよ準備段階へと進むなか、近隣に交番は無く、地域の治安維持のためにも交番設置を要望する。
32	継続	梅坪台	西山地区 交番設置	豊田刈谷線の整備も終了し、豊田南北バイパスや上豊田駅周辺のみちづくりの事業が進む中、さらなる人口増加が見込まれる地域であり、近隣に交番は無く、地域の治安維持のためにも交番設置を要望する。朝日小学校校門入口に豊田刈谷線の余剰地があり、ここに設置を要望する。
33	継続	梅坪台	都市計画道路浄水駅南通り線延伸整備	浄水地区の区画整理事業が進み、人口が急増しており、さらに浄水中学校・交流館の開設により通行量が増加する中、浄水駅南通り線及び東通り線の延伸整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

【高橋地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	新規	高橋	市道・御立→寺部線の道路拡張（豊田北高校付近）	現在、寺部区画整理事業に伴い、豊田則定線は2.5mの道路幅となる。高橋が開通する事で寺部～御立線の一部の道路が拡張されるが、一部の道路（豊田北高等学校）近郊から豊田スタジアム東の交差点までが1車線となり、その先の御立までは4車線となる為、豊田スタジアムイベント時交通渋滞・事故防止・ラグビーWCP等に向けて道路拡張を要望し、中央公園構想とは別で考えて頂きたい。
2	新規	高橋	県道則定線と市道高橋1号線への信号交差点設置の確定	寺部区画整理事業に伴い県道則定線が今後4車線になるが、中央分離帯が設置される事で高橋自治区の住民が分断されてしまう為に、市道高橋1号線と県道則定線へ信号交差点の設置を要望する。H14年から始まった住民説明会からも強く要望され、現在の市道高橋1号線はその為に拡張をした経緯も有る。昨年には、豊田警察署、愛知県、公安へ直接陳情を実施。現在は暫定的な交差点となっているが、確定を要望。
3	新規	高橋	県道則定線・高橋1号線から高橋2丁目交差点～内環状線までの4車線化	寺部区画整理事業に伴い、現在県道則定線の4車線化の事業が進んでいる。4車線化の予算は高橋1号線までとなっており、その先高橋2丁目交差点までの約210mの4車線化の見通しがついていない為に早期の4車線化を要望。更に既に、都市計画決定がされている為に内環状線までの4車線化の延長も要望する。
4	継続	高橋	県道487号線・中金～古瀬間線の拡充（県道松平志賀中金線拡幅）	矢並線～山中町間の県道487号線の一部道路舗装整備は、平成28年度完了した。未実施の道路整備補修を要望。矢並線～山中町間の通学路確保と車両交通事故防止の為、道路拡幅・拡充を計画的な方向性を作成し要望する。
5	継続	高橋	市道岩滝～百々線の延伸	平井小学校～県道細川線（平井子ども園）までの延伸。一昨年（平成27年度）には執行部（土木課）と立会い済み。地元同意が進めば必要性を検討と回答。現在、地元自治区において同意を継続中の為に継続として要望する。
6	継続	美里	高橋細谷線 竜宮橋の整備	野見小学校西交差点から長興寺9丁目交差点の4車線化工事の早期完成を要望する。
7	継続	美里	県道細川豊田線の拡幅・改修	長年要望を出しているが、道路整備が進んでいない状態歩道がない区間もあり、生活道路、通学道路としても危険な状態。歩道整備を含めた拡幅・改修の整備を要望する。
8	継続	美里	中央公園第2期整備	平成29年度に中央公園連絡会が開催され、周辺自治区関係者に都市計画決定までの説明がありました。今後計画を加速し、中央公園早期完成を要望する。
9	新規	美里	消防署東分署の本署化	世帯数21,000人口を54,000人をかかえ高齢化の進む高橋地区において、消防署の役割が重要となっている。出動件数も平成28年度の統計では、1,685件と南消防署と変わらない状態で稼働しているため、消防職員にも負担増になっている。本署化することで体制を強化すると共に、地域住民の安心安全を確保したい。また建物も老朽化しているため早期計画を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

10	新規	美里	鵜の首狭窄部の整備	東海豪雨級の洪水を安全に流せるように国が矢作川整備計画を策定し整備を進めている。矢作川が狭く蛇行している為に、中流域の豊田市中心部を脅かしている「鵜の首狭窄部」の早期整備を要望する。
11	継続	益富	国道301号線整備（益富拡幅）	主要道路である301号線の4車線化の早期事業化決定を要望する。（泉町2丁目交差点～松平橋まで）
12	継続	益富	益富交流館の駐車場整備	駐車場が、現在56台のうえ自主活動グループが増加し、交流館利用者数も増加している。利用者が集中する午前中は、周辺の路上に駐車している状態。数年前から駐車場不足対策を市に要望していたが、一向に解決されない状態である。増加整備を要望する。
13	継続	益富	古瀬間町・志賀町・泉町 消防団詰所の新築	平成29年度に消防団詰所の設計に着手。現在使用している消防団詰所が大変古い状態の中で、汚水処理場跡に、3地区合同で使用する消防団詰所新築の早期完成を要望する。
14	新規	益富	古瀬間二本木線及び古瀬間二本木一号線の整備	古瀬間聖苑に繋がる古瀬間二本木線及び古瀬間二本木1号線は、車輛の通行量も増加し、舗装状態が悪化している。道路の改善と歩道等の前面改修の早期整備を要望する。
15	新規	益富	樫尾川の浚渫	古瀬間町から泉町に抜ける樫尾川に、木が生えたり土砂が溜まっているので、浚渫を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

【上郷地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	上郷	愛環北野柵塚駅周辺整備	①駅ロータリーの設置 ②駐車場整備 ③駅周辺の道路整備
2	継続	上郷	市道広美柵塚線の整備／柵塚東町	①拡幅整備及び、市道のT字交差点の改良をすること。 ②市道広美柵塚線と市道東柵塚郷東線を結ぶこと。 ③市道東柵塚郷東線を柳川瀬公園内道路と結ぶこと。
3	継続	上郷	御手洗川の整備／畝部西町	県道から畝部こども園西側の御手洗川を暗渠化し緑道として活用することにより、園児の安全性も図られるため早期整備を要望する。
4	継続	上郷	畝部小学校搬入道路の整備	畝部小学校の周辺道路は、道幅が狭く大型バス、消防車（大型）の進入ができないため、早期の道路拡幅を要望する。（全自治区長要望書提出）
5	継続	上郷	豊田市南部工業団地早期実現（福受地区）	地元アンケート調査も終わり、地元、地権者の熱意が年々高まっている。進出希望企業と調整し、早期に地権者と交渉を切に希望する。
6	継続	上郷	猿渡川の堤防を2車線道路へ	猿渡川の整備と堤防整備に関して、地域の長年要望である平針街道から地域文化広場に堤防道路を拡張し、道路沿いに工業団地、住宅用地を計画する。
7	継続	上郷	柵塚西町自治区 公園の建設 ／柵塚西町	1100世帯、3200人の自治区に遊具のある公園が一箇所しかない。子どもたちの遊べる場所や地域の人たちの憩いの場所と大災害時の避難場所なる公園の建設を要望する。
8	継続	上郷	家下川の堤防の散策と上郷藪間公園との整備	家下川の藪間公園沿いで地元有志により蛍が最近飛び交う。子供たちが水に触れるように整備を要望する。
9	継続	上郷	愛知環状鉄道の「三河上郷駅」のロータリー内の駐車場の整備と駅構内のエレベーター設置	「三河上郷駅」の駅前の駐車場が自由に無料で使用できるため、すぐ満車になり、困っている。有料または、駐車場を降車場として整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

10	継続	末野原	明治用水暗渠化と上部利用及び周辺整備（鴛鴨町他）	安城台地を潤すべく明治に開削された明治用水の上部利用については、広美町の三連水車下流で公園やウォーキング道の整備が進められてきたが、末野原地域の渡刈・鴛鴨・永覚の各自治区内は整備されていない。従って、国・県に働きかけて国営矢作川総合第2期地区の早期着手及び、地域要望を取り入れた上部利用及び周辺整備を要望する。
11	継続	末野原	永覚町の愛環永覚駅周辺整備及び周辺道路・通学路の一带整備	永覚駅の駅ロータリー設置・駐車場整備・駅周辺道路整備（駅南側道路は狭くて危険）による利便性向上及び、平子地区の児童の通学路・生活道路において平子橋北側の明治用水沿いの道路拡幅による安全対策。道路新設も考慮した周辺一带整備を要望します。
12	継続	末野原	幸（隣松寺含む）町地内の排水路暗渠化による通学路・遊歩道整備	隣松寺から幸町に通じる、市道側溝及び排水路に蓋をして、通学路・遊歩道の設置希望。
13	継続	末野原	宝蔵川周辺の法面・護岸拡幅等工事による住宅地・田畑等の浸水防止他	渡刈町地内の宝蔵川周辺の急斜面法面の草刈り対策及び集中豪雨時の住宅地・田畑等の浸水防止の護岸拡幅等工事の実施。
14	継続	末野原	家下川の川幅拡張による、集中豪雨時の浸水防止対策	家下川と明治用水の交差する部分は川幅が狭く、集中豪雨時には、排水できず上流の住宅地浸水が予想されるため、拡張工事を依頼。
15	継続	末野原	豊田市挙母南部地区に体育館の建設（末野原地区他）	企業収益の改善により、財政状況も好転の兆しを見せており、リーマンショックで凍結された実践計画に基づいて、豊田市挙母南部地区に地域型スポーツ施設の整備として地域体育館の建設を要望します。
16	継続	末野原	三河豊田駅前広場の改修	現在、愛知環状鉄道駅の三河豊田駅の駅前広場には噴水が設置されているが、年間を通して水は流されてなく、また多くの樹木があり、駅前広場としての機能を阻害している。また、地元住民による「三河豊田駅前広場を考える会」も設立され、交通結節点機能を高める駅前広場に全面改修を要望します。
17	継続	末野原	県道本地鴛鴨線大林町12丁目交差点の建物撤去	県道本地鴛鴨線大林町12丁目交差点に屋台の店舗が4軒あり、営業を行っている形跡がなく、建物も老朽化し、防犯上も問題があり、愛知県に対し早期撤去を市からも強く要望していただきたい。
18	新規	末野原	御幸本町・大林自治区区民会館の地代	御幸本自治区のふれあいホール底地は、豊田市から賃借しており、地代の積算については75%減免を受けているが、そもそも土地の評価価格が高く、減免されても高額の地代を支払っている。上限額を設定してほしい。また、大林区民会館は、民間借地であり減免されることはない。助成制度の新設をお願いしたい。
19	継続	末野原	永覚新町 公園整備	永覚新町には公園が自治区内に一つもないので自治区住民が触れ合える場所がないので早急な整備をお願いします。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

【高岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	高岡	都市計画道路の事業化 / 若林西町 若林東町	地区内にある都市計画道路の早期事業化を要望する。 この地域には土地区画整理事業の計画が予定されているが、この辺りは以前より駅を中心に商業施設や学校等があるため人や車が多く集まってくる。 土地区画整理事業が始まるにしても、ここを利用するための流れを早期に整理する必要があると考える。 また、南部地区として宅地等の要望が多いこの地区(特に鉄道駅があるので他地区より更に要望が多い)において、安定した税収を確保するためにも生活の基盤となる道路の整備が重要となる。
2	継続	高岡	若林神社前交差点改良 及び 若林花園線の拡張 / 若林西町	若林神社前交差点は、北方面からの車の多くが右折し若園地区方面に向かったり、直進先に変形交差点(六辻交差点)があつたりするため渋滞が発生する。 JAの店舗もあり、近隣地区より車で人が集まるので土地区画整理事業の事業化待ちでは遅く、事故等が発生する前に対応して頂きたい。 また、交差点には歩道橋もあるが子どもたちの通学路としては使われておらず、車等の視界の妨げとなっているため、撤去する必要がある、早期に整備を要望する。
3	継続	高岡	県道名古屋岡崎線・県道豊田一色線 渋滞対策 / 若林東町	この地域で交差する主要地方道路名古屋岡崎線、県道豊田一色線付近の道路渋滞が常に激しい。その結果、生活道路への車両流入が発生し近隣生活にも影響があるので対策を要望する。
4	継続	高岡	里道の市道認定と道路拡張 / 若林東町	この道路沿いには、竹元公園が新設されると共に、病院・住宅地の新設が計画されており、現在の道路幅では課題となることが予想されるので、市道認定と道路の拡張を要望する。
5	新規	高岡	若林東町六ツ辻交差点改良 / 若林東町	若林駅周辺で計画を進めている区画整理事業の予定計画範囲より外れる方向で事業が進められている変則交差点。 本来の区画整理の目的として交通の障害となっていたこの交差点が、同意率や周辺域における区画整理のメリットを考慮すると区画整理地区から外し単独での整備が最善であるとの考えとなった。 そのため、この交差点改良を区画整理事業より早くまたは、名鉄三河線複線高架事業と同時に整備することを要望する。
6	継続	竜神	市道：山の手64号線の拡幅用地の買収 / 寿町	当該市道の拡幅は、20年前、県道：水源橋線拡幅が計画された当時から計画であるが、県道拡幅の工事終了となる現在も用地の買収がなされていない。これは分譲マンションの地権者が多数であり合意が得られていないからであるが、市が責任を持って用地を買収するということは、当時からの約束である。従って用地買収にむけて努力することを要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

7	継続	竜神	排水路の確保／寿町	寿町2丁目地内の県道水源橋線の冠水は、中央分離帯を切断し、市道の側溝を整備するなどして対策したが、排水路が民地を通っている。大風川までの排水路整備を要望する。
8	新規	竜神	市道：山の手20号線の側溝整備／寿町	寿町5丁目地内の当該市道の一部は、法面があり側溝が整備されていないため、雨水が民地に流れ込んでいる。側溝整備を要望する。
9	継続	竜神	東田区民会館前ふれあい広場の拡張／寿町	東田自治区は人口が増加しており、自治区内唯一の広場であるふれあい広場で行事を開催しているが非常に手狭になってきている。隣接する東側の民地が、現在は企業の駐車場として賃貸されているが、その民地をふれあい広場として、用地取得することを要望する。
10	継続	竜神	県道豊田一色線宝町玉泉の横断歩道のところの押しボタン式信号設置	宝町と西田町の多数の中学生は、毎朝県道豊田一色線の横断歩道を渡り通学をしている。しかし県道の南側住宅の小学生は、朝の通勤時間帯の交通量が多いことから危険を避け、大林高架橋の下を抜ける市道を利用して北側の通学路を使って通学をしている。防犯上の問題から、保護者から県道をこどもたちが安心して横断できる環境を整えてほしいとの強い要望があり、小学生の通学路変更を前提に、押しボタン式の信号機の設置を要望する。
11	継続	竜神	竹村新池公園の拡張整備	竹村新池公園は近隣公園として平成13年3月に供用開始され、近隣住民の憩いの場として多くの区民が利用している。公園南側と東側の農地を借用して拡張し、区民がより幅広い活動ができるスペースを確保できるように拡張整備を要望する。
12	継続	竜神	トヨタ上郷工場南側の市道の拡幅（市道竹下和会線）	豊田工業高校の生徒が通学路として使用しているトヨタ自動車(株)上郷工場南側の市道（市道竹下和会線）は、道路幅が狭いにもかかわらず、近年通過交通が増加の傾向にあり、非常に危険な状態にある。道路幅を拡幅し、通学で使用する自転車が安心して利用できるスペースの確保を要望する。
13	新規	竜神	名鉄三河線竹村駅西側の駅前広場と駐車場の整備	現在竹村駅は、駅前のスペースも少なく、特に雨天時には、送迎の車の出入りで、その混雑はたいへん危険な状態となっている。名鉄三河線の複線化にあわせ、竹村駅の西側にも駅への入口を設けるとともに、駅前広場の整備と、駐車場の整備を要望する。
14	継続	若園	三河線連続立体交差化事業	中根町～若林東町の複線高架化の推進を図りたい。
15	継続	若園	（都）西岡吉原線 道路新設事業（主要地方道豊田一色線～名鉄三河線）	（都）西岡吉原線の道路事業が進行中である。平成28年度で、R155BP～名鉄三河線までが終了するので、続いて名鉄三河線から吉原町地内の主要地方道豊田一色線間の道路新設事業に着手を願います。吉原町では、農地を斜めに計画決定されており、三角地が沢山残ってしまうため用地取得が困難であることから、その利用方法について協議しながら進めてほしい。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

16	新規	若園	(都)西岡吉原線 道路新設事業	特に中根町集落については、地域との話し合いを、まちづくりとして面的な整備手法での取り組み方を示して理解活動をし進めて戴きたい。
17	継続	若園	市道花園役場線 道路整備事業	工場の出入り口の問題を早急に解決し進捗を早められ、継続事業として早期の完了を目指して進められたい。
18	継続	若園	市道中根下大切線 道路整備事業(歩道設置)	用地取得を短期間に完了し、引き続き事業促進されたい
19	継続	若園	若園中学校改築事業	若園中学校校舎の老朽化に伴い、早急な改築を要望する
20	継続	若園	若園交流館改築事業	若園交流館は若園地区の文化交流の拠点施設であり、地域住民の交流の場でもあるが、老朽化も進んでおり、早期の改築を要望する。H26では、先進地の視察をしており、平成27年度では、先進地である浄水中学校の視察をしている。合築についての理解度は上がって来ていることであり具体的な議論に入って頂きたい。
21	継続	若園	中根公園の整備	一昨年度に引き続き進捗を図っていただきたい。
22	継続	若園	市道吉原8号線	主要地方道名古屋岡崎線B.Pに合わせ完了するよう進められたい。
23	継続	前林	調整区域における小規模生鮮食品店舗の設置許可	市街化調整区域が大半の地域であるが、居住者が多い地域にもかかわらず、生鮮食品用店舗がないため、周辺都市に行かねばならず、車を利用できない高齢者等にとって大変不便を感じている。売り場面積1,000㎡程度の店舗が可能な土地利用計画を検討していただきたい。
24	継続	前林	都市計画道路の早期整備	都市計画道路豊田刈谷線、西岡吉原線は整備中となっているが、全線の整備に向かって整備の進捗が遅い。大型車両の通行が激しい在来道路の改善と通学路等の安全確保のため早期の整備を検討してほしい。豊刈線も刈谷ハイウェイオアシスのスマートインター化に伴い、残りの区間の事業化も推進していただきたい。
25	継続	前林	ふれあいバスの利便性向上	豊田市の中心部に向かう公共交通機関が貧弱であり、都心部との結びつきが薄い。公共交通バスのルート、ダイヤの見直しとともに、乗り換えなしで都心に向かうバス路線方を検討してほしい。
26	継続	前林	耐震対策の推進	当地区は逢妻女川沿いの地域であり、地震に弱い地盤の地域である。家屋の倒壊防止対策としての耐震診断の推進を重点的に実施していただきたい。
27	新規	前林	金山揚水跡地の公園化と設立者生家の保存	金山揚水は地域の開発の歴史的遺産であり、公園化することで後世に地域の歴史を語る資料とするとともに、市民の憩いの場としたい。また、創立者内藤氏の生家が倒壊寸前であり、明治時代の建物として早期の保存を望む。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

【猿投地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	保見	伊保貝津線の先線の早期計画	現在貝津駅で止まっている伊保貝津線の東保見町への早期延伸を要望する。
2	継続	保見	保見マレットゴルフ場の36ホール化	高齢者のスポーツ施設として、早期に測量・用地確保を希望。高齢者の健康寿命延伸のため必要な施設である。
3	継続	保見	篠原町地内の防災道路の新設	愛知環状鉄道沿いに防災道路の新設を要望する。東海豪雨の折、国道への出入りが寸断され孤立しているため、早期の実施を要望する。
4	継続	保見	貝津町の地籍調査の継続実施	国庫補助減額のため、少し遅れるとのことであるが、早期継続実施を要望する。
5	継続	井郷	布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と水辺・親水公園整備	昨年に引き続き、水と緑のまちづくりのために布袋池（猿投運動公園内）と水無瀬川の水質保全確保と近自然化工法などによる水辺・親水公園化整備とそのための水源確保を要望する。
6	継続	井郷	豊田市運動公園までの名鉄延伸とパークアンドライド用駐車場の用地確保と整備	猿投駅は北の玄関鉄道駅として位置づけられているが、現在は学童始め鉄道で運動公園を訪れる人たちが、道なき道を迷いながら利用しているという状況である。その改善策と運動公園利用者を増やすためにも、名鉄の運動公園までの延伸と、パークアンドライド用駐車場の整備（駐車場用地の早期取得）また、豊田市に移管された線路敷地の利活用もあわせ要望する。
7	継続	井郷	都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通 ①（都）猿投停車場線 ②（都）猿投学校通り線 ③（都）名古屋豊田線（県道） ④（都）御船花本線（県道） ⑤（都）豊田多治見線（国道） ⑥（仮）四郷貝津線 ⑦ 市道大釜鳥坂根線	豊田市北部の都市計画道路等幹線道路の事業化・早期着工・前倒し早期整備・早期開通は合併地区と旧市との交通網の整備確立のためや、北部における安全安心の生活環境整備、各公共施設・準公共施設・工業施設誘致施策等にも重要である。これらを踏まえた政策的な道路整備の推進を要望する。
8	継続	井郷	マレットゴルフ競技場移転整備計画の充実及び造園施工	マレットゴルフ競技場移転整備計画の充実と地工建及び造園専門業種による造園施工工事の実現。
9	継続	井郷	地工建及び造成・造園其々の専門業種による造成・造園施工工事の実現	豊田市製材工場の早期整備計画の推進と地工建及び造成・造園其々の専門業種による造成・造園施工工事の実現。
10	継続	井郷	北部給食センター移転に伴う跡地利活用について地域要望実現にむけた調整	北部給食センター移転に伴う跡地利活用について地域との要望意見を主体とした利活用の推進の調整の徹底。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

11	継続	石野	通学路の歩道の設置(自転車共用)	国道153号の勘八町勘八交差点から力石インター東交差点までの歩道整備、秋には香嵐溪方面への渋滞箇所で大変危険である。早急な整備を要望する。 (国交省から事業化連絡あり、継続して早期実施を要望)
12	継続	石野	石野中学校への進入道路の確保	石野中学校は、緊急時に市民の避難所として指定されているが、国道153号からの正門進入路に限られているため、災害により進入路が絶たれた場合にも避難所の安全確保のため整備を要望する。
13	新規	石野	おいでんバス「さなげ・足助線」経路地変更	おいでんバス「さなげ・足助線」は旧三河線広瀬駅から石野運動公園を經由して力石へという路線となっている。現路線から三河広瀬駅から上切広斎寺・小峰口・下室を經由する路線の変更を要望する。 現路線は人家も少なく、利用者の少ない路線となっている。 要望路線は石野地区3666名のうち、1428名、43%が生活し、利用者増が一番望めるコースであり、石野地区が直面する過疎化対策・人口増対策としても大変有効であり、路線変更を強く要望する。
14	継続	猿投	(仮)水辺ふれあいプラザ事業	本事業は、矢作川水系に生息する魚類が年々減少する中、これらを復元させ、子供たちに魚類の生息状況など生態の学習施設として計画されました。用地取得は平成19・20年度に買収されましたが、具体的な整備方針が明らかにされません。昨年度、隣接する籠川と一体的整備構想が役員に示され、引き続き早期の具体計画案が示されることを要望します。
15	継続	猿投	乙部ヶ丘団地～猿投中学校への通学路整備	猿投中の生徒数は平成33年度にピークの500名超え、その7割が乙部ヶ丘団地からの通学生徒であり、現在、市において平成31年度末の完成を目指し市道整備を進めていただき感謝申し上げます。しかしながら、市道整備が完成しても通過交通が多い県道部の2箇所を横断することとなるため、新たな危険箇所が生じることになりますので、何らかの対策検討をお願いします。
16	継続	猿投	加納～西中山の道路拡幅(市道落合向山線)	本路線は猿投地区と旧藤岡西中山メグリアなど商業施設と連絡する地域の生活幹線道路であり、沿線には平成28年10月に高齢者福祉施設が開設されています。平成29年度から用地買収に着手していただきお礼申し上げますと共に早期の事業完了を要望します。
17	新規	猿投	国道419号の4車線化事業	本路線は、豊田市中心部と瑞浪市を結ぶ幹線道路であり、近年朝夕には与茂田」交差点～亀首児童交差点が渋滞している。現在、四郷区画整理事業に合わせ順次整備するとのことを聞いているが、次期整備区間として要望書に明記していただきたい。
18	継続	猿投台	ゾーン30の指定	本来は、平成29年度中に猿投台(青木町)地区でゾーン30設定される予定であったが、事業化が遅れている。一日も早い事業化ならびに拡大を要望する。
19	継続	猿投台	枝下町地内採掘現場修復と産業廃棄物不法投棄監視	枝下町地内の過度な砂利採取は、地域住民に不安感を増大させている。併せて、産業廃棄物の不法投棄も危惧される。管理監督は愛知県ではあるが、豊田市の立場からも愛知県に対して、一日も早い対応をするよう要望する。また、産業廃棄物の不法投棄にも監視の強化を要望する。
20	新規	猿投台	平戸橋西詰交差点改良	交通量の増加、3回での変則信号のため、恒常的な渋滞エリアであり、地域住民ならびに利用者に不便をかけている。用地買収をも視野に入れた交差点改良を望む。
21	継続	猿投台	名鉄越戸駅の周辺整備及びバリアフリー対策推進	北バイパス事業に合わせて、計画的に整備をするよう要望する。同地区は都市計画決定をされており迅速な、対応を望む。合わせて、高齢社会に対応するため越戸駅にエレベーターの設置を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

22	継続	猿投台	勘八公園・前田公園整備推進	勘八公園は昭和57年に都市公園と位置付けられてが事業がストップしている。また、前田公園は市民広場条例の位置づけであり、都市公園と位置づけ、公園としての機能を高めてほしい。これにより民芸館、民芸の森との連携強化により集客が期待できる。
----	----	-----	---------------	--

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

【藤岡地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	藤岡	国道419号の改良整備（藤岡飯野交差点他）	藤岡飯野交差点をはじめとする国道419号は、周辺の住宅地や工場などへの交通集中により、朝夕に各所で慢性的な交通渋滞が発生し、市民生活に支障をきたしている。このため、事業着手された藤岡飯野交差点改良及び迫八反田交差点改良は交通の要衝であり、早期完成に向け集中的な整備を要望する。また、当該国道は小・中・高校生の通学路としての利用が多く、歩道の新設や拡幅などの早期整備を要望する。
2	継続	藤岡	市道藤岡飯野広瀬線改良整備	市道藤岡飯野広瀬線改良整備は歩道もなく、通学児童や高齢者が交通事故の危険にさらされている。また、グリーンクリーンふじの丘建設時の地元住民の約束条件であり、早期の改良整備を要望する。
3	継続	藤岡	新設市道の整備（北一色～迫～深見～西中山）	藤岡飯野交差点の慢性的な渋滞を回避するための新設道路を要望する。
4	継続	藤岡	県道大平折平線の拡幅整備（大岩町地内）	県道大平折平線の拡幅整備は県道でありながら幅員が3.5mしかなく、大岩町住民と隣接の小原地区大平町住民は、車の通行に大変苦勞している。さらに道路も屈曲部が多く通学児童や高齢者は交通事故の危険性にさらされているため早期の拡幅整備を要望する。
5	継続	藤岡南	国道419号辻貝戸交差点改良	小・中学校生徒の通学安全確保するため、早期の改良を要望する。
6	継続	藤岡南	国道419号バイパスの早期着工	国道419号西中山町地内の渋滞緩和のため、早期着工を要望する。
7	継続	藤岡南	国道419号の通学路整備 深見町常楽交差点（西側）歩道設置	小・中学校の通学路の安全確保のため早期設置を要望する。
8	新規	藤岡南	藤岡南交流館の建替え	平成23年4月の藤岡南中学校開校に合わせ、既存の公共施設を転用して開館した。このため、必要な諸機能の不足・低下はもとより、築30年が経過することで建物本体の老朽化が目立っている。平成29年1月からの新成人を祝う会の単独開催がキャパ不足で開催できないなど、地域交流拠点としての機能不足が著しいため、早期の建替えを要望する。
9	継続	藤岡南	藤岡南地区運動広場建設	藤岡南地区には運動広場がないため、早期建設を要望する。
10	新規	藤岡南	体育館及び校外トイレ建替え	学校の生徒数規模に対し、手狭で老朽化しており、トイレに関しては、立地上、防犯的に問題点が多くあり、建替えを要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

【小原地区】

番号	提出状況	中学校区	要 望 事 項	具 体 的 内 容
1	継続	小原	市有財産を活用した住宅、宅地整備／永太郎町、小原町、遊屋町	旧老人憩いの家、旧教職員住宅及び平成29年度に取壊される小原郷土館など、おいでん・さんそんビジョンに掲載された取組に基づいて未利用な市有財産を活用し、移住、定住の促進を図るため、住居、宅地の整備を要望する。
2	継続	小原	四季の回廊整備事業の促進／永太郎町他	四季の回廊ミュージアム構想は、第7次総合計画に位置付けられ順次整備が進められてきた。この構想は、地域資源を活かした観光交流拠点施設の整備事業であり、地区の活性化に欠かせない。鳥屋平園地の整備及び川見四季桜の里の拡充整備など、第8次総合計画に掲載されている拠点施設の整備促進を要望する。
3	継続	小原	市道築平川下線の改良／築平・川下町	本路線は、小原、旭、足助地区の地域核を結ぶ重要路線を構成するとともに、近年は地区間の観光拠点を結ぶ観光バス路線として重要性が高まっている。観光シーズンにおける観光バスの通行を考慮し、地域住民の車両と安全に交互通行できる道路改良を要望する。
4	新規	小原	和紙のふるさと設計／永太郎町	建設から38年が経過し、施設設備の老朽化が進行している。また、バリアフリー化や展示形態ニーズの多様化に対応できなくなっている。さらに、三河漆文化継承の役割が付加され、そのスペースも必要となった。未使用スペースを改修しバリアフリー化を図るとともに漆のスペースを確保する。展示館は多様な展示ニーズに対応できる展示室への改修を要望する。
5	継続	小原	国道419号和紙のふるさと入口の交差点改良／永太郎町	国道419号と市道との取り付けが不整形であることと、観光施設である和紙のふるさとと小・中学校が隣接していることから、観光客の車と児童、生徒及び一般車両が交差することになる。また、通過車両の速度も速く危険な状況であることから、早期に交差点の改良を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

【足助地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	足助	足助白山町・越田和町地内、埋立地の開発	足助白山町・越田和町地内埋立地（足助バイパス残土捨て場）の活用については、地質調査まで進んでいるが、具体的な計画にはいたっていない。 地元自治区では、具体的な開発に向けた検討部会を新盛自治区・大蔵自治区でそれぞれ立ち上げ、足助地区全体の要望書としてのとりまとめに取り組んでいる。 豊田市としての開発計画の早期立案を要望する。
2	継続	足助	足助まちづくりプランの市計画としての位置づけと策定と、国際観光都市建設を視野に入れた香嵐渓の再整備	足助の町並み整備は『まちづくり交付金事業』が完了し、一応の計画は終了している。 しかしながら、リーマンショックによる予算の減額などにより、多くの課題が残されたままになっている。 また、足助地区には、全国的な知名度を有する香嵐渓を始め魅力ある観光資源があり、国内外から多くの観光客が訪れ、本市の観光まちづくりに大きく貢献している。 近年、日本を訪れる外国人観光客の増加に伴い、足助地区においても中国人はじめ外国人観光客が増加傾向にある。国家的ビッグイベント開催を視野に、本市の有力な観光資源を磨き上げる（再整備する）ことにより、本市の世界的認知度、都市ブランドを向上させることが可能となる。 合併時の新市建設計画においては、「香嵐渓施設整備事業」（ライトアップ更新等）、「奥香嵐渓開発整備事業」、「香嵐渓アクセス歩道等整備事業」など、観光資源の整備が掲げられているが、一部を除いて計画化されていない。
3	継続	足助	足助支所新築の早期実現	足助支所の新築については、経済状況の悪化から延期されている状況にあるが、景気浮揚・市税回復が実現された現状から、早急に計画の実行に着手していただきたい。
4	継続	足助	新盛里山耕第2期計画の早期着工と、拠点施設としての『道の駅』建設	新盛里山耕は、『里山くらし体験館一すげの里一』を拠点施設として『里山耕流塾』など都市と農山村の交流事業を展開している。 平成19年に策定された『山村活性化事業「里山耕」基本計画では、第2期拠点施設の建設が計画されているが、リーマンショック等の影響で実現に至っていない。 早期の計画実現を要望する。
5	継続	足助	旧愛知県東加茂事務所跡地・学校跡地・老人ホーム跡地等の有効活用	旧足助町時代に活用されていた『西部中学校』（国谷町）、『老人ホーム跡地』（近岡町）の活用計画が、様々な要因で進捗していない。 また、『旧愛知県東加茂事務所』が昨年度解体され更地となった。県所有の土地の市への譲り受けと町並み整備と連携した有効利用が地元自治区から要望されている。 地元自治区に有意義な活用方法の早期実現を要望する。
6	継続	足助	旧いこいの村施設の再整備・再利用化	旧いこいの村愛知は足助町時代に、愛知県が閉鎖して以来、10年以上が経過しようとしている。足助地区では市有地として有益な場所であり、地域活性化のためにも、早期再整備・再利用化の計画策定を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

【下山地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	下山	県道作手善夫大沼線の改良整備／大沼町	① 県道作手善夫大沼線は、下山地区の中央を東西に結ぶ主要路線である。未だ狭あい、カーブが急で危険箇所が多く冬季には事故も多い。安心安全な通行可能となる早期の改良整備を要望する。 ② 大沼町大畑地内における一部狭あい箇所は、車両のよけ合いが困難であり、危険である。地元住民の通行、又観光等に訪れる車の通行も多く、事故発生も懸念されるだけに、早期の改良整備を要望する。
2	継続	下山	市道下山二本松名牛東線（名牛集落側）、市道下山越田和ドドメキ線（越田和集落側）及びこの2路線を連結するバイパスの改良整備／大沼町	市道下山二本松名牛東線及び市道下山越田和ドドメキ線は、地域と支所等の下山中心地区を結ぶ重要な路線である。しかし、急なカーブや狭あい危険箇所が多く住民生活や児童生徒の安全な通学に支障をきたしている。この2路線を結ぶバイパス部分を含めて一体的に整備することにより、飛躍的に利便性が向上し、定住促進にもつながるため、早期の改良整備を要望する。
3	継続	下山	主要地方道足助下山線の改良整備／大沼町	主要地方道足助下山線は、支所間を結ぶ重要路線である。基幹病院である足助病院通院の重要な路線であるにもかかわらず未だ多くの箇所が狭あい危険の多い道路である。 本路線は、合併時に県事業として新市建設計画に策定されている道路であり、下山地区と足助地区の双方からの狭あい箇所解消に向けて早急な改良整備を要望する。
4	新規	下山	市道下山二タ瀬草木線道路舗装及び落石防止/羽布町	市道下山二タ瀬草木線（延長約8km）は三河湖左岸道路である。下山地区の賑わいづくり推進の核となる三河湖を周遊する観光道路である。 大部分未舗装で降雨により路面の浸食が激しい。且つ落石が多く交通事故等の危険性をはらんでいることから計画的な整備を要望する。
5	継続	下山	下山ウツキフ子切山線／花沢町・大沼町	県道「坂上花沢線」と県道「足助下山線」を接続する道路である。通学路であるが、狭あいの上に、ロイヤルカントリークラブ往復の通行車両が多く危険度が増していることもあり、早急な道路拡幅整備を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

【旭地区】

番号	提出状況	中学校区	要 望 事 項	具 体 的 内 容
1	新規	旭	旧築羽小学校跡地の民間活用への支援	平成24年3月に閉校した旧築羽小学校跡地の有効な活用策として、若者の定住促進や地域活性化など地域課題の解消に繋がる取組を提案した民間事業者への施設の貸付及び継続的な運営への支援を要望する。
2	新規	旭	旧教職員住宅の活用した定住対策の推進	旧教職員住宅などの未利用市有財産を活用し、移住・定住促進を図るための住居・宅地の整備を要望する。
3	新規	旭	上中のしだれ桃渋滞対策の一層の推進	多くの観光客が訪れる上中のしだれ桃のイベント期間中には、県道土岐足助線及び県道豊田明智線が渋滞し、近隣住民の生活に影響を及ぼしている。特に県道土岐足助線は、急こう配であるうえ道幅が狭く、カーブも多いことから交通事故等の発生も懸念されるため、道路の拡幅も含めた渋滞緩和対策を要望する。
4	新規	旭	榊野広場埋め立て後の有効活用	矢作ダムの堆砂の搬入・埋立作業が進められており、最終計画平場面積は50,200㎡で、広大な敷地が整備される見込みであるため、早期の埋立完了とその後の有効活用に向けた整備計画の検討を要望する。
5	新規	旭	旭木の駅プロジェクトの継続実施	旭木の駅プロジェクト推進事業は、森林資源の有効活用と地域内経済の循環に寄与するとともに、住民同士の助け合いの精神が息づいた大変効果的な事業でもあるため、今後も継続して実施する事を要望する。
6	継続	旭	旭高原元気村施設の魅力アップ	旭高原元気村は、旭地区の主要観光施設であり、夏期のキャンプや冬期の雪そりゲレンデを中心に利用客は年々増加しているが、更なる魅力アップと新たなリピーターの確保に向け、老朽化施設の改修を含めた宿泊施設の充実を要望する。
7	継続	旭	笹戸会館敷地内の不用公共施設解体撤去後の活用	笹戸会館敷地内にある不用施設（しめじ生産施設）の解体撤去工事が本年度実施される見込みであり、その跡地利用として、消防団詰所格納庫及び防災倉庫の早期建設を要望する。
8	継続	旭	旭地区県代行林道浅野線の舗装整備促進	平成26年度に整備事業完了した県代行林道浅野線について未舗装区間が大部分であるため、引き続き舗装整備を要望する。
9	継続	旭	主要地方道豊田明智線の整備促進	旭地区内の主要地方道豊田明智線の浅谷町～須渕町間のバイパストンネル事業は、平成20年度から用地買収が始まっている。引き続き県と連携し、事業の進捗状況の見える化を含め早期実現に向けた迅速な事業促進を要望する。

○豊田市議会 自民クラブ議員団 平成30年度当初予算への要望

【稲武地区】

番号	提出状況	中学校区	要望事項	具体的内容
1	継続	稲武	「重点」道の駅「どんぐりの里いなぶ」を核とした総合的なまちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・重点道の駅の整備を進めていくうえで、国に対して交付金・補助金の優先的支援を要望する。 ・市は、重点道の駅を核として、道の駅の機能拡張や周辺の整備を進め、併せて稲武地域全体のまちづくりを進めることを要望する。
2	新規	稲武	支所施設の有効活用及び利便性向上のための改修	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、支所棟2階は「交流館」として広く市民利用されているが、エレベーターが無く高齢者を始め利用者に不便を強いており、早急なエレベーター設置を要望する。 ・交流館施設の機能充足を図るため、多目的ホール等の改修設置を要望する。 ・支所棟1階スペースの有効活用を要望する。
3	継続	稲武	「自然エネルギーゾーン」の位置付けと整備	<ul style="list-style-type: none"> ・稲武地区の大井平公園に小水力発電施設が設置された。また、自治区主体で富永町が設置、大野瀬町地内でも自治区主体で水力発電施設の整備が検討されている。 ・中部電力の揚水発電所と併せて、稲武地区は全国に誇る環境学習ゾーンとなる。 ・自然エネルギーゾーンの位置付けと環境モデル都市にふさわしい一体的整備を要望する。
4	継続	稲武	稲武地区の雇用の創出と定住の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・人口の減少に歯止めがかからない中、特に14歳以下の人口の少なさは、小中学校の存続にも影響し、地域の将来に希望が持てない状況である。 ・I・U・Jターンの一層の推進や流出の防止のため交流の拡大、住居の提供や雇用の創出・紹介が必要である。 ・サテライトオフィス、木質バイオマス（木の駅プロジェクト）、農林業の6次産業化、企業誘致など稲武地域に適した産業の振興を図ることを要望する。
5	継続	稲武	面ノ木園地・風力発電所周辺の一体的整備	<p>面ノ木園地・風力発電所一帯は、天竜奥三河国定公園内にある本市の環境取組のシンボルであるとともに、貴重な自然・環境教育・観光資源でもある。この素材を有効に活用して、地域発展に結び付くような観光誘客や子どもたちの環境教育の場とするため、管理道路や風車及び周辺の学習環境の整備を要望する。</p>